

投手のかわりにバッティングティーの上にボールを置いて打つ野球ゲーム。後は野球とほとんど同じです。1988年にIBA(国際野球連盟)とISF(国際ソフトボール連盟)によって入門期の子どものために考案された。

☆ 難度★★ 人数:1~20人



◎ 用具

- ◆ ティー 1本
- ◆ ティーボール用バット 2本(ウレタンの柔らかい素材)
- ◆ ボール 6個(9インチ、中空ボール)
- ◆ ベース 4枚

◎ 場所

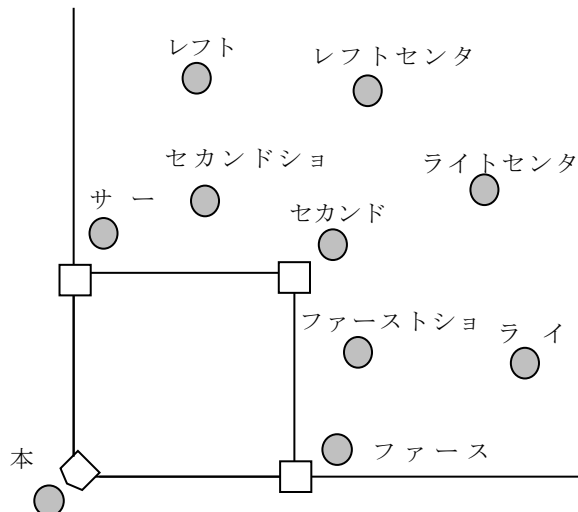
屋内・・・壘間 10~12m、外野まで30m²以上
 屋外(中学生以上男子)・・・18.29m 外野まで55m以上
 屋外(中学生未満)・・・・・・・14m 外野まで40m以上

◎ 人数

1人~20人

- 1チームの人数は10~15人で、両チームの選手の人数は同じにします。
- 守備は10人で行い、ポジションは6人の内野と4人の外野になります。
- 1チームの人数が10人をこえる場合は、打つだけの選手となります。
- 本塁手は打者がボールを打つまでは、バッターズサークルの外にいること。

【ポジション】



ゲームの進め方

ほとんど野球と同じです。

- 両チーム、ジャンケンなどで、先攻、後攻を決める。
- 守備は10人、他の選手は打つだけの選手となる。
- 攻撃側の全打者が打撃を完了した時点で攻守を交替する。規程の回数（3回～5回）を終ったとき得点の多いチームが勝者となる。
- 残塁の走者は、次回に受け継ぐ。
- 試合終了後時に同点の場合は、原則として試合を延長して行う。

【ルール】

<1人で楽しむ>

- バッド1本、ボール4～5個、バッティングティー1台
- ボールをティーの上に載せ、ネットや壁に向けて打って楽しむ。

<2人で楽しむ>

- 打者と守備に分かれ、打者が打ち、守備者はそのボールを捕って返球する。
- 打者がボールをすべて打ち終わったら交代する。

<3人で楽しむ>

- 打者1人と守備2人に分かれ、打者が打ち、守備者はそのボールを捕って返球する。
- 打者がボールをすべて打ち終わったらローテーションで交代する。

<グループで楽しむ>

【打つ】

- 審判の「プレー」の宣言のあと、ボールを打つこと。
- ボールを打つとき、軸足の移動は1歩まで認められます。2歩以上動かすとストライク。
- 空振りしたり、バッティングティーだけを打ったりした場合は、ストライク。（バッティングティーとボールを同時に打った場合は、ヒットとします。）
- バントはありません。
- 2ストライクから、ファールボールを打つとアウトになります。

【走塁】

- 打者がボールを打つまで、塁を離れてはいけません。違反するとアウトになります。
- スライディングは禁止。違反するとアウトとなります。
- 塁の駆け抜けは認められます。

駆け抜けとは、次の塁に進むつもりがなければ、塁を走り抜けた後にタッチされてもアウトにならないことです。

- 盗塁はありません。

【交替】

- 攻撃側の全員が一巡したとき。